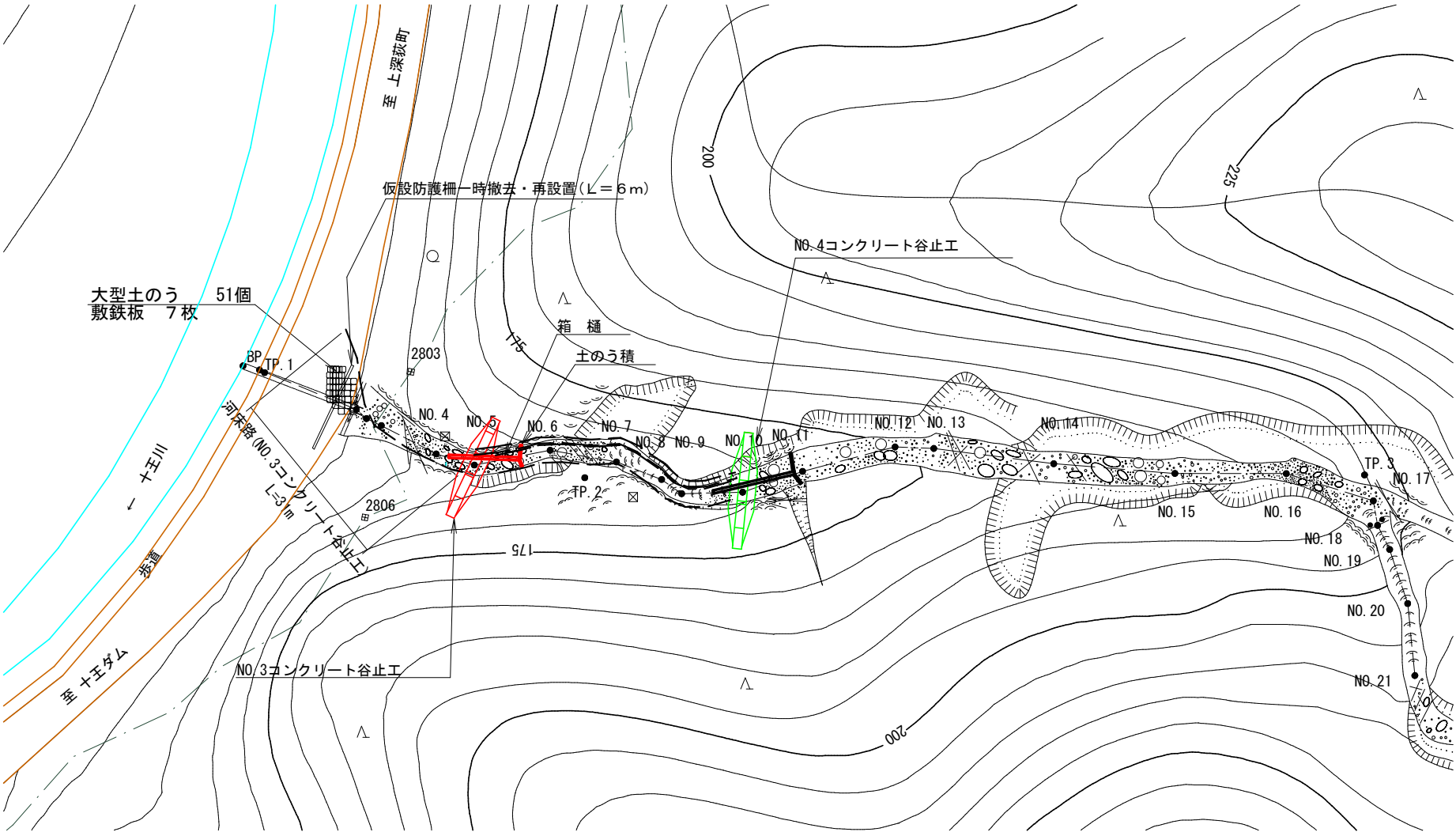


平面図

S=1:1,000



1. 運搬工(河床路)

重機の搬入及び資材等の運搬は、県道60号線付近を起点として、開設する河床路を利用して行う。

- 河床路(NO. 3コンクリート谷止工)
延長31.0m 幅3.0m、不陸均し土量 (1m当り0.3m³)

- 河床路(NO. 3コンクリート谷止工)
入口に大型土のう及び敷鉄板設置。

2. 廻排水(NO. 3コンクリート谷止工)

表流水は流路を土のう積で締め切り、箱樋で廻排水する。

床掘内の湧水はポンプ排水とする。

- ・箱樋 L=14m (巾50cm×深20cm、集水面積15ha未満)
- ・土のう積 2.1m² (H=0.3m、L=7.0m、集水面積10ha以下)

3. コンクリート工

コンクリートの投入打設は県道60号線にポンプ車を設置し、圧送管を配管して行う。

- ・圧送管延長(NO. 3コンクリート谷止工) : L(水平距離)=31m、H(垂直距離)=10m

4. 仮設防護柵一時撤去・再設置

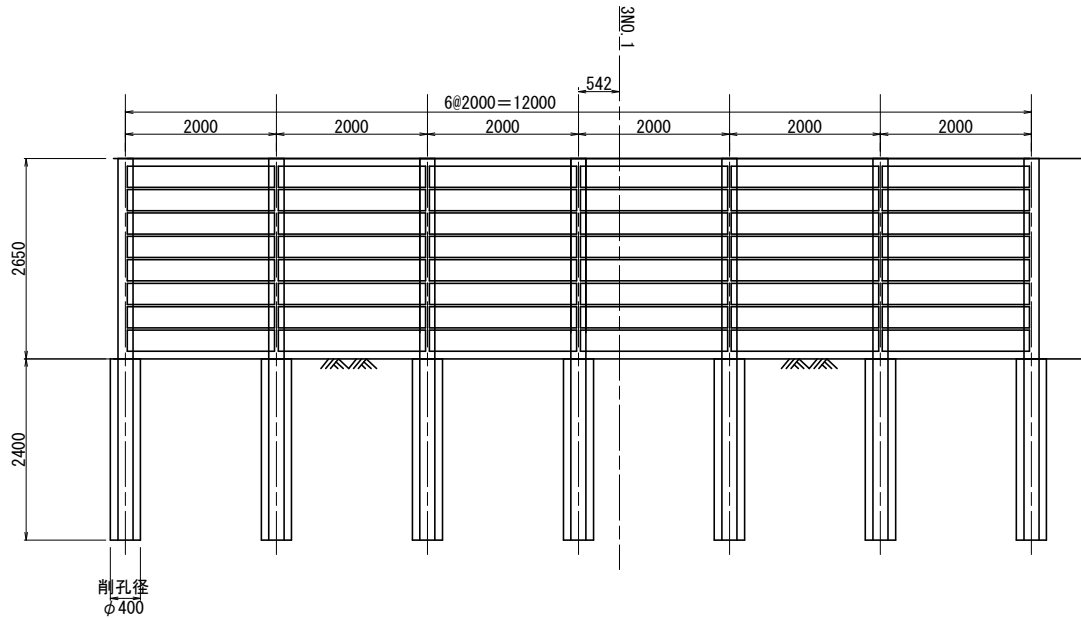
常陸太田市側の延長6m分を撤去・再設置
撤去した箇所へ、大型土のうを設置(県道側3段積)

(奥撫地区4沢)

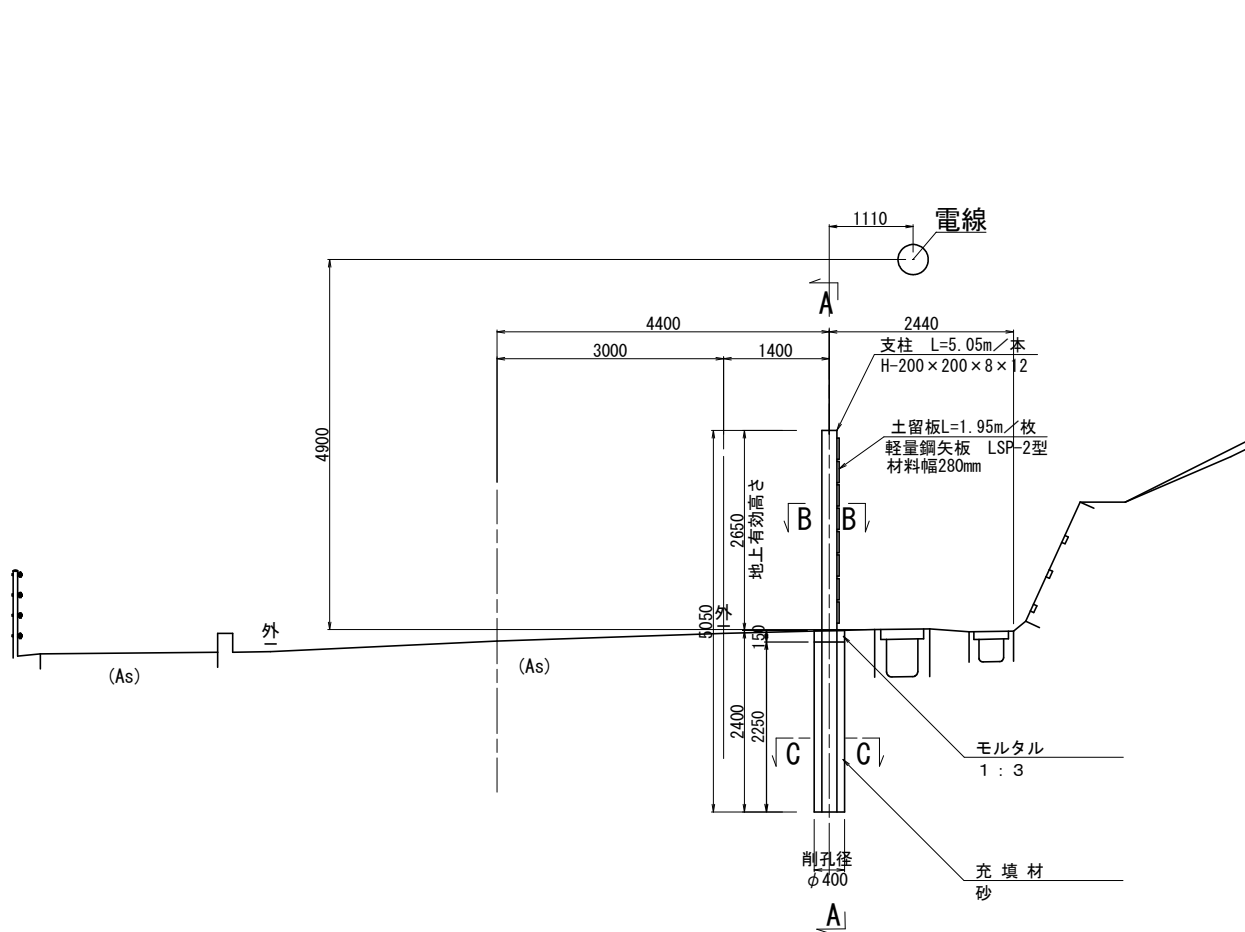
図面名	仮施設計画図		
図面番号	14	縮尺	図示

3 沢 仮設防護柵

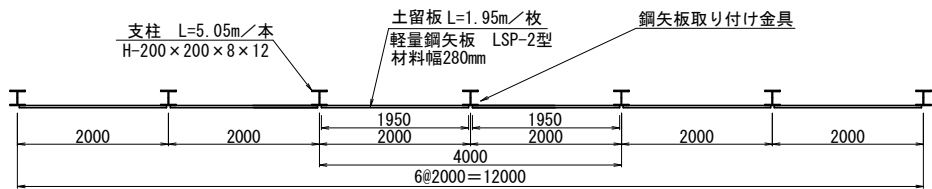
正面図 S=1:50
(A-A)



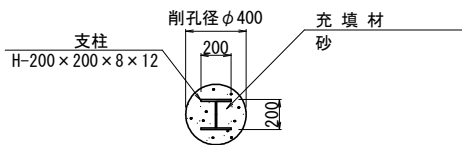
側面図 S=1:50



B-B 断面図 S=1:50



根入部断面図 S=1:25
(C-C)



※参考

材 料 表

(12mあたり)

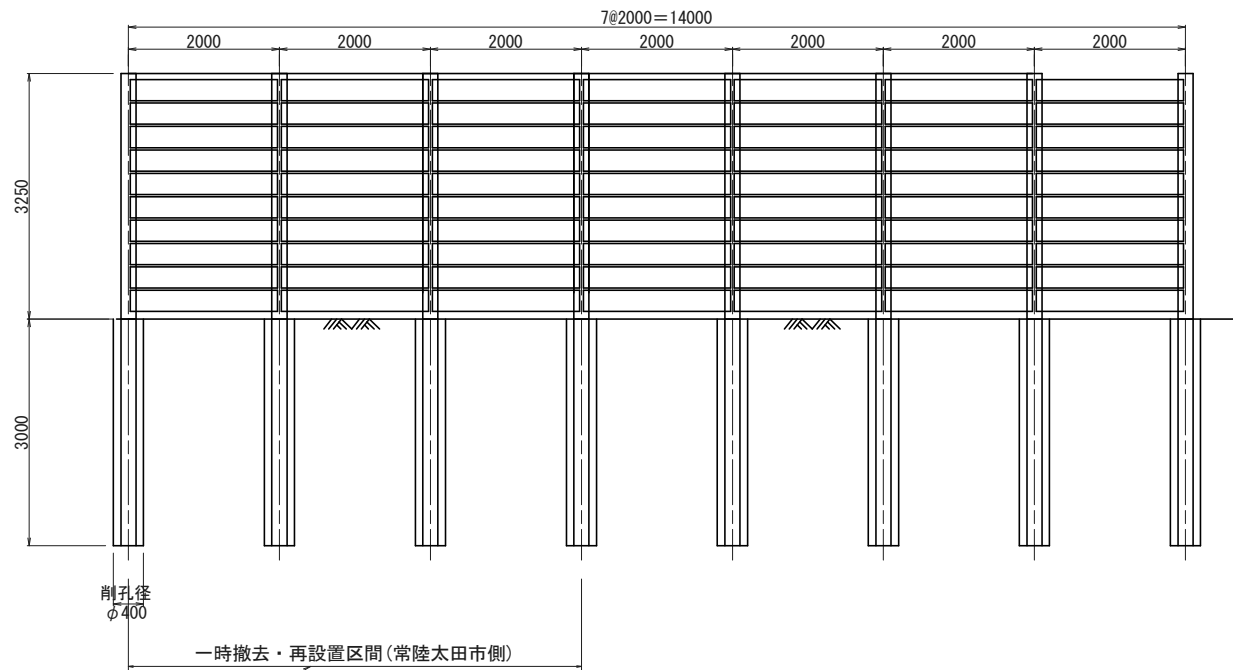
種 別	規格・形状	単 位	数 量	備 考
支 柱	H-200×200×8×12 L=5.05m/本	(本) t	(7) 1.764	L=5.05m×7本=35.35m W=35.35m×49.9kg/m=1764.0kg
土 留 板	軽量鋼矢板LSP-2型 材料幅280mm t=4mm L=1.95m/枚	(枚) t	(48) 1.105	N=8枚×6列=48枚 W=1.95m/枚×48枚×11.8kg/m=1104.5kg
基礎工	削 孔	φ400	m	L=2.4m×7本=16.8m
	残土処分		m3	V=1/4×π×0.40m×0.40m ×2.4m×7本=2.111m3
	モルタル	1 : 3	m3	V=1/4×π×0.40m×0.40m ×0.15m×7本=0.131m3
	充 填 材	砂	m3	V=1/4×π×0.40m×0.40m ×2.25m×7本=1.978m3

注1) 鋼矢板と支柱は溶接による設置とすること。
注2) 防護柵の地上有効高さ(鋼矢板設置高さ)は、2.5m以上とすること。

施工年度	令和 7 年度
工事名	奥撫地区復旧治山工事 (R7補正)
工事箇所	茨城県日立市十王町高原 奥撫地区有林1162林小班
図面種別	仮設防護柵撤去・再設置図 (3沢)
縮尺	図 示
図面番号	1 5

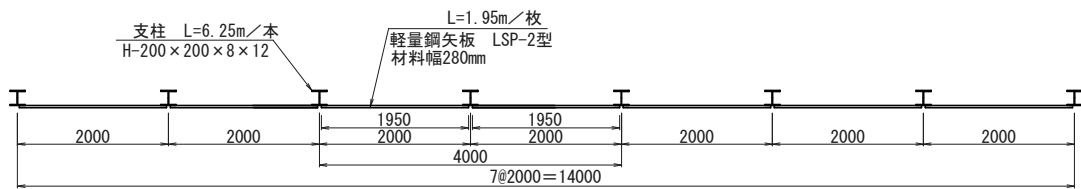
4 沢 仮設防護柵

正面図 S=1:50

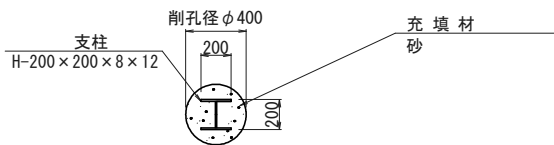


B-B 断面図 S=1:50

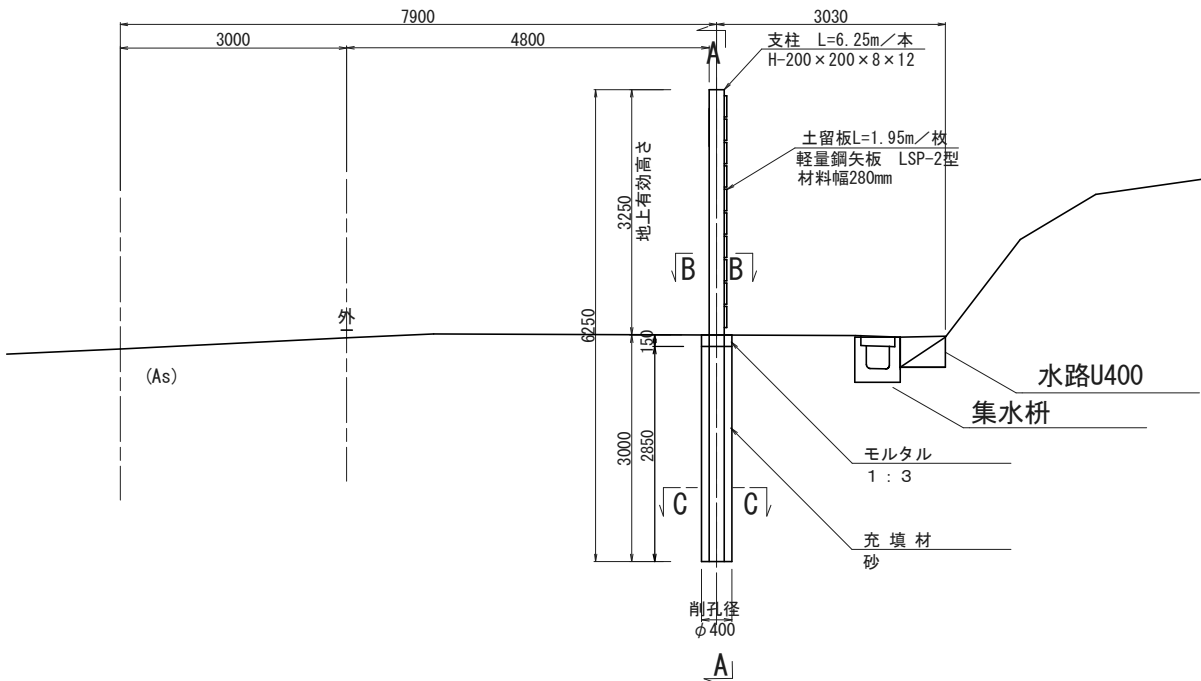
仮設防護柵一時撤去・再設置
H鋼 3本
横矢板 3スパン [6m分]



根入部断面図 (C-C) S=1:25



側面図 S=1:50



※参考

材 料 表

(14mあたり)

種 別	規格・形状	単 位	数 量	備 考
支 柱	H-200×200×8×12 L=6.25m/本	(本) t	(8) 2.495	L=6.25m×8本=50.00m W=50.0m×49.9kg/m=2495.0kg
土 留 板	軽量鋼矢板LSP-2型 材料幅280mm t=5mm L=1.95m/枚	(枚) t	(70) 2.020	N=10枚×7列=70枚 W=1.95m/枚×70枚×14.8kg/m=2020.2kg
基礎工	削 孔	φ400	m	24.0
	モルタル	1 : 3	m ³	0.1
	充 填 材	砂	m ³	2.8

注1) 鋼矢板と支柱は溶接による設置とすること。

注2) 防護柵の地上有効高さ(鋼矢板設置高さ)は、3.25m以上とすること。

施工年度	令和 7 年度
工事名	奥撫地区復旧治山工事(R7補正)
工事箇所	茨城県日立市十王町高原 奥撫国有林1162い林小班
図面種別	仮設防護柵工撤去・再設置図(4沢)
縮尺	図 示
図面番号	1 5